

# 標準ライブラリとモジュール



初めてのプログラミング

2020年度

只木進一（理工学部）

# 関数とは

## Functions

- ➡ 引数を与えると、それに基づく計算を行い、結果を返す
  - ➡ 数学関数など
  - ➡ 式で表せなくてもよい
- ➡ 引数を与えると、そのデータを加工して返す

# Pythonの関数

## Functions in Python

- 組み込み関数
  - 特別な指定なしで利用できる
- モジュールを指定して利用する関数
  - 沢山ある
- 自分で定義した関数

# サンプルプログラムの取得

- GitHubRepositoryを指定
  - <https://github.com/first-programming-saga/StandardLibraries>

# 数値計算に使える組み込み関数

関数	説明
<code>abs(x)</code>	$ x $
<code>divmod(a,b)</code>	$a$ を $b$ で割った(商、余り)のタプル (値の組)
<code>max(a,b,c,...)</code>	最大値
<code>min(a,b,c,...)</code>	最小値
<code>pow(x,y)</code>	$x^y$
<code>pow(x,y,z)</code>	$x^y \% z$
<code>round(x,k)</code>	$x$ を $k$ 桁に丸める。切り上げ、切り捨ての距離が同じ場合は偶数側になることに注意

[StandardLibraries/basicFunctions.ipynb](#)

## 基本的関数

基本的関数の例を示す。これらは、モジュールのimportが不要である。

絶対値

$$\text{abs}(x) = |x|$$

```
In [ ]: 1 abs(-10)
```

除算の商と余り  $(a, b) = \text{divmod}(x, y)$

$$\begin{aligned} a &= \text{int}(x/y) \\ b &= x \bmod y \end{aligned}$$

```
In [ ]: 1 divmod(10,3)
```

```
In [ ]: 1 divmod(10,2.5)
```

最大値

```
In [ ]: 1 max(3,1,5,10,4)
```

べき乗

$$\text{pow}(x, y) = x^y$$

```
In [ ]: 1 pow(2,8)
```

$$\text{pow}(x, y, z) = x^y \bmod z$$

```
In [ ]: 1 pow(2,8,3)
```

まるめ。距離が等しい場合には、偶数側に丸めること注意が必要。

```
In [ ]: 1 round(3.5)
```

```
In [ ]: 1 round(2.5)
```

二番目の引数を与えて、丸める桁を指定することもできる。

```
In [ ]: 1 round(3.1415,2)
```

## 課題

与えられた数値の中から、最小値を求める例を作成しなさい

# 文字操作関数

## string functions

関数	説明
chr(整数)	整数が表すUnicode文字列
ord(一文字)	文字に対するUnicode
len(文字列)	文字列の長さ
str(数値)	数値を文字列化

[StandardLibraries/basicStringFunctions.ipynb](#)

## 文字に関する基本的関数

文字に関する基本的な関数の例。

文字コードから文字へ

```
In [ ]: 1 chr(66)
```

文字から文字コードへ

```
In [ ]: 1 ord('A')
```

```
In [ ]: 1 ord('佐')
```

```
In [ ]: 1 chr(20305)
```

文字列の長さ。len()は、他のオブジェクトについても長さを返す。

```
In [ ]: 1 len('佐賀県')
```

数値に対応した文字列を返す

```
In [ ]: 1 str(100)
```

文字列に対応した整数値を返す

```
In [ ]: 1 int('256')
```

文字列に対応した浮動小数点値を返す

```
In [ ]: 1 float('9.12')
```

文字コードからアルファベット小文字を表示する

```
In [ ]: 1 ca = 97 #小文字'a'のアスキーコード  
2 for i in range(ca,ca+26):  
3     print(chr(i))
```

## 課題

文字コードを指定することで、アルファベット大文字を表示しなさい



# モジュール (modules)

- ➡ 関連する関数や定数などをまとめたもの
  - ➡ pythonと一緒に配布されているもの
  - ➡ 後からインストールするもの
- ➡ import モジュール
- ➡ from モジュール import 関数
- ➡ asで別名を付けることも可能

# mathモジュール

- ▶ 様々な数学関数
- ▶ 整数への切り上げ(`ceil()`)、整数への切り下げ(`floor()`)、最大公約数(`gcd()`)、平方根(`sqrt()`)

## 数学関数

これらはmathモジュールが必要である。

```
In [ ]: 1 import math
```

mathモジュールを使った例

$x$ に対して、その常用対数を求め( $y = \log_{10} x$ )、整数へと切り下げて1を加える。これにより、 $x$ の整数部分の桁数がわかる。

```
In [ ]: 1 x = 101
2 y = math.log10(x)
3 print(f'log10({x}) = {y}')
4 n = math.floor(y)+1
5 print(f'{x}の整数部分は{n}桁です') #文字列中に数値を埋めこむ。{x}は変数xの値を埋めこむことを表す
```

二つの整数の最大公約数

```
In [ ]: 1 math.gcd(21,36)
```

指数関数、対数関数、平方根、三角関数が見える

### 【課題】

小数以下の切り下げ、切り上げの例を作成しなさい。

```
In [ ]: 1
```

## mathモジュール

関数	説明
ceil(x)	小数以下切り下げて整数に
copysign(x, y)	xと絶対値が等しく、yと符号の等しい値を返す
fabs(x)	$ x $
factorial(x)	$x!$
floor(x)	小数以下切り上げて整数に
fmod(x,y)	$x\%y$
fsum(iterable)	iterableなデータ列の和
gcd(a,b)	aとbの最大公約数
inf	浮動小数の最大値
nan	浮動小数型の非数

関数	説明
exp(x)	$e^x$
log(x,b)	$\log_b x$
log(x)	$\ln x = \log_e x$
log2(x)	$\log_2 x$
log10(x)	$\log_{10} x$
sqrt(x)	$\sqrt{x}$
e	$e$

# mathモジュール：三角関数

関数	説明：角度はラジアン
<code>acos(x)</code>	<code>acos(x)</code> 逆余弦
<code>asin(x)</code>	<code>asin(x)</code> 逆正弦
<code>atan(x)</code>	<code>atan(x)</code> 逆正接
<code>atan2(x,y)</code>	原点から(x,y)へのベクトルの角度
<code>cos(<math>\theta</math>)</code>	余弦
<code>sin(<math>\theta</math>)</code>	正弦
<code>tan(<math>\theta</math>)</code>	正接
<code>degrees(<math>\theta</math>)</code>	角度をラジアンから度へ変換
<code>radians(x)</code>	角度を度からラジアンへ変換
<code>pi</code>	$\pi$

# オブジェクトとメソッド

## Objects and Methods

- ▶ pythonでは、データやデータの塊をオブジェクトと呼ぶ
- ▶ オブジェクトには、操作方法（メソッド）が付随している

# 文字列のメソッド

## Methods for strings

- ➡ 大文字小文字変換
- ➡ 含まれる文字の数
- ➡ 文字列を発見
- ➡ 文字列を置き換え
- ➡ 余分な文字を取り去る
- ➡ 文字列差し込み
- ➡ 注意：immutableであること

StandardLibraries/stringFunctions.ipynb

## 文字列を操作する基本的な関数

元の文字列は変更されていないことに注意する。

```
In [ ]: 1 a = 'Apple Pie'
```

```
In [ ]: 1 a.upper()
```

```
In [ ]: 1 a.lower()
```

```
In [ ]: 1 #元の文字列が変更されていないことを確認  
2 a
```

```
In [ ]: 1 b = "saga university"
```

```
In [ ]: 1 b.capitalize()
```

```
In [ ]: 1 b.title()
```

## 部分文字列

インデックスを用いて、部分文字列を取り出すことができる

```
In [ ]: 1 a[0:4]
```

```
In [ ]: 1 a[:4]
```

```
In [ ]: 1 a[4:]
```

## 検索と置換

```
In [ ]: 1 print(b.find('y'))# 'y' を探索
```

```
In [ ]: 1 print(b.find('s',0))# 's' を先頭から探索
```

```
In [ ]: 1 print(b.find('z'))#含まれていない文字を探すと
```

```
In [ ]: 1 print(b.rfind('s'))#後ろから探索
```

```
In [ ]: 1 c = b.replace('a','A')  
2 print(c)
```



# 次回

- 5章「条件分岐、繰り返し、例外処理」
  - 条件分岐とwhile